



平成25年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月10日

上場取引所 東

上場会社名 小津産業株式会社

コード番号 7487 URL <http://www.ozu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中田 範三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長

(氏名) 稲葉 敏和

TEL 03-3661-9400

四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年5月期第2四半期の連結業績(平成24年6月1日～平成24年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年5月期第2四半期	17,884	△0.9	203	△37.9	251	△26.2	101	△54.4
24年5月期第2四半期	18,053	△0.9	327	—	340	—	222	—

(注) 包括利益 25年5月期第2四半期 118百万円 (△52.1%) 24年5月期第2四半期 247百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年5月期第2四半期	12.13	—
24年5月期第2四半期	26.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年5月期第2四半期	18,915	11,059	58.5
24年5月期	18,948	11,041	58.3

(参考) 自己資本 25年5月期第2四半期 11,059百万円 24年5月期 11,041百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年5月期	—	0.00	—	12.00	12.00
25年5月期	—	0.00	—	—	—
25年5月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年5月期の連結業績予想(平成24年6月1日～平成25年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,800	△0.2	310	△26.0	380	△18.8	200	△37.1	23.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年5月期2Q	8,435,225 株	24年5月期	8,435,225 株
25年5月期2Q	70,023 株	24年5月期	70,004 株
25年5月期2Q	8,365,208 株	24年5月期2Q	8,365,363 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に、企業の生産活動や個人消費は緩やかな回復傾向にありましたが、欧州債務危機による世界経済の減速や円高傾向の長期化などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、近時の経営環境の変化に迅速に対応し、外部環境の実態に即した事業戦略のもとに企業の総力を最大限に発揮すべく、平成25年5月期からの3ヵ年の中長期的な経営戦略を策定し、「海外戦略の強化」、「新事業・新商品の創出」、「コンバーター機能の強化・拡充」、「グループ各社の連携強化」、「人材育成」に重点を置いて営業活動を推進してまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は178億84百万円（前年同期比0.9%減）、経常利益は2億51百万円（前年同期比26.2%減）、四半期純利益は1億1百万円（前年同期比54.4%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別の状況は以下のとおりであります。

(不織布事業)

主力の不織布製品につきましては、エレクトロニクス関連産業の稼働率が国内・海外ともに引き続き低迷しており、特に中国においては年末のクリスマス商戦に向けた稼働率の上昇も見られず、安価な海外製品との競合による利益率の低下もあり、業績は低調に推移しました。

また、連結子会社の日本プラントシーダー㈱が担うアグリ分野では、海外向けの販売は比較的堅調に推移したものの、福島第一原子力発電所の近隣地域における風評被害による作付け低迷や、北海道地域における販売数量の落ち込みが業績を押し下げる要因となりました。

これらの結果、売上高は54億99百万円（前年同期比1.1%減）、セグメント利益は2億71百万円（前年同期比24.2%減）となりました。

(家庭紙・日用雑貨事業)

連結子会社のアズフィット㈱が営む家庭紙・日用雑貨事業につきましては、消費者の低価格志向に加え安価な輸入品の増加の影響などにより、トイレットペーパーやティシュペーパーの販売価格は引き続き低迷し、国内製紙メーカーによる価格修正も浸透せず、苦戦を強いられました。

これらの結果、売上高は123億53百万円（前年同期比0.8%減）、セグメント損失は54百万円（前年同期は13百万円のセグメント損失）となりました。

(その他の事業)

その他の事業につきましては、売上高は30百万円（前年同期比12.3%減）、セグメント利益は8百万円（前年同期比807.9%増）となりました。

(注) 連結子会社の日本プラントシーダー㈱およびアズフィット㈱の決算期は2月末日のため、当第2四半期連結累計期間には各社の平成24年3月から平成24年8月の実績が反映されております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

資産につきましては、前連結会計年度末に比べて33百万円減少し、189億15百万円となりました。主な要因は、「受取手形及び売掛金」の増加1億59百万円、「商品及び製品」の減少1億16百万円、「建物及び構築物（純額）」の減少70百万円であります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて51百万円減少し、78億55百万円となりました。主な要因は、「支払手形及び買掛金」の減少15百万円、「リース債務」の減少12百万円であります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて17百万円増加し、110億59百万円となりました。主な要因は、「その他有価証券評価差額金」の増加16百万円であります。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フロー増加額が2億54百万円、投資活動によるキャッシュ・フロー増加額が62百万円、財務活動によるキャッシュ・フロー減少額が1億12百万円となり、当第2四半期連結会計期間末の残高は前連結会計年度末に比べ2億29百万円増加し37億10百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は2億54百万円（前年同期比1億20百万円減）となりました。収入の主な内訳は、「税金等調整前四半期純利益」2億35百万円、「減価償却費」1億21百万円、「たな卸資産の増減額」1億9百万円であり、支出の主なものは、「売上債権の増減額」1億59百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は62百万円（前年同期は8百万円の使用）となりました。収入の主なものは、「定期預金の払戻による収入」1億1百万円であり、支出の主なものは、「無形固定資産の取得による支出」20百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億12百万円（前年同期比81百万円増）となりました。支出の主なものは、「配当金の支払額」1億円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想に関しましては、最近の業績動向を踏まえ、平成24年7月13日公表の数値より修正を行っております。詳細は、平成25年1月9日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び一部の連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年6月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,772,332	3,901,257
受取手形及び売掛金	5,920,653	6,079,928
商品及び製品	1,215,733	1,099,244
原材料	189,568	196,948
繰延税金資産	61,490	51,483
その他	845,322	741,899
貸倒引当金	△7,314	△8,180
流動資産合計	11,997,786	12,062,581
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,381,752	5,381,752
減価償却累計額	△3,179,269	△3,249,290
建物及び構築物(純額)	2,202,482	2,132,461
機械装置及び運搬具	392,329	399,118
減価償却累計額	△338,966	△348,712
機械装置及び運搬具(純額)	53,363	50,405
土地	1,724,227	1,724,227
リース資産	3,450	3,344
減価償却累計額	△2,127	△2,398
リース資産(純額)	1,322	945
その他	143,632	145,546
減価償却累計額	△114,856	△118,416
その他(純額)	28,776	27,129
有形固定資産合計	4,010,172	3,935,170
無形固定資産		
のれん	110,279	88,223
リース資産	24,810	13,135
その他	93,456	97,837
無形固定資産合計	228,545	199,196
投資その他の資産		
投資有価証券	2,055,988	2,073,494
長期貸付金	34,301	27,498
繰延税金資産	20,705	21,770
その他	622,909	616,305
貸倒引当金	△22,251	△20,984
投資その他の資産合計	2,711,652	2,718,084
固定資産合計	6,950,371	6,852,451
資産合計	18,948,158	18,915,032

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,836,549	3,820,924
短期借入金	850,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
1年内償還予定の社債	300,000	300,000
リース債務	25,078	14,507
未払法人税等	74,427	103,031
賞与引当金	32,967	28,401
役員賞与引当金	1,120	—
その他	601,769	552,696
流動負債合計	5,921,912	5,869,560
固定負債		
社債	700,000	700,000
長期借入金	750,000	750,000
リース債務	2,263	270
繰延税金負債	318,622	329,940
退職給付引当金	76,605	83,331
役員退職慰労引当金	95,381	85,017
その他	42,284	37,864
固定負債合計	1,985,156	1,986,424
負債合計	7,907,069	7,855,985
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,322,214	1,322,214
資本剰余金	1,374,967	1,374,967
利益剰余金	7,925,225	7,926,289
自己株式	△82,406	△82,427
株主資本合計	10,540,001	10,541,043
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	501,088	518,003
その他の包括利益累計額合計	501,088	518,003
純資産合計	11,041,089	11,059,047
負債純資産合計	18,948,158	18,915,032

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)
売上高	18,053,303	17,884,056
売上原価	15,077,234	15,113,200
売上総利益	2,976,068	2,770,856
販売費及び一般管理費	2,648,453	2,567,386
営業利益	327,614	203,469
営業外収益		
受取利息	1,343	1,414
受取配当金	20,411	25,079
仕入割引	20,544	19,337
為替差益	—	31,936
その他	18,921	11,547
営業外収益合計	61,220	89,314
営業外費用		
支払利息	18,500	14,938
支払遅延利息	—	21,361
売上割引	1,415	1,486
為替差損	19,827	—
持分法による投資損失	39	1,159
その他	8,915	2,718
営業外費用合計	48,698	41,665
経常利益	340,137	251,118
特別利益		
保険戻戻金	27,462	1,398
受取保険金	33,542	—
固定資産売却益	130	—
その他	1,191	384
特別利益合計	62,327	1,782
特別損失		
固定資産除却損	156	31
投資有価証券評価損	12,387	16,404
災害による損失	3,359	—
その他	741	732
特別損失合計	16,644	17,169
税金等調整前四半期純利益	385,819	235,731
法人税、住民税及び事業税	153,236	123,571
法人税等調整額	9,886	10,714
法人税等合計	163,122	134,285
少数株主損益調整前四半期純利益	222,697	101,445
少数株主利益	—	—
四半期純利益	222,697	101,445

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	222,697	101,445
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,467	16,915
その他の包括利益合計	24,467	16,915
四半期包括利益	247,164	118,361
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	247,164	118,361
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	385,819	235,731
減価償却費	129,139	121,156
のれん償却額	22,055	22,055
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7,042	△401
賞与引当金の増減額(△は減少)	△25,397	△4,565
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,520	△1,120
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△519	6,726
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,325	△10,364
受取利息及び受取配当金	△21,755	△26,493
支払利息	18,500	14,938
為替差損益(△は益)	16,524	△25,701
持分法による投資損益(△は益)	39	1,159
保険戻戻金	△27,462	△1,398
有形固定資産売却損益(△は益)	△130	—
有形固定資産除却損	156	31
投資有価証券評価損益(△は益)	12,387	16,404
受取保険金	△33,542	—
災害損失	3,359	—
売上債権の増減額(△は増加)	△355,282	△159,274
たな卸資産の増減額(△は増加)	147,712	109,108
仕入債務の増減額(△は減少)	△789	△15,624
未払消費税等の増減額(△は減少)	32,931	△20,674
その他の資産の増減額(△は増加)	219,363	110,247
その他の負債の増減額(△は減少)	△66,116	△35,832
その他	1,808	945
小計	455,564	337,054
利息及び配当金の受取額	21,713	26,353
利息の支払額	△18,494	△13,256
保険金の受取額	33,542	—
災害損失の支払額	△5,330	—
法人税等の支払額	△111,964	△95,762
営業活動によるキャッシュ・フロー	375,030	254,389

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△48,019	△10,987
有形固定資産の売却による収入	24,030	—
有形固定資産の除却による支出	△49	—
無形固定資産の取得による支出	△7,901	△20,268
投資有価証券の取得による支出	△34,073	△8,609
投資有価証券の売却による収入	17	—
貸付けによる支出	△4,800	△1,460
貸付金の回収による収入	5,183	2,357
定期預金の払戻による収入	21,500	101,069
保険積立金の積立による支出	△2,246	△2,221
保険積立金の払戻による収入	54,313	2,446
その他	△16,128	173
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,174	62,500
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	70,000	—
長期借入金の返済による支出	△5,369	—
自己株式の取得による支出	△103	△21
配当金の支払額	△83,515	△100,106
リース債務の返済による支出	△12,208	△12,470
財務活動によるキャッシュ・フロー	△31,197	△112,597
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16,524	25,701
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	319,134	229,993
現金及び現金同等物の期首残高	3,180,472	3,480,184
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,499,607	3,710,178

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年6月1日至平成23年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不織布	家庭紙・ 日用雑貨	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,561,761	12,456,261	18,018,023	35,279	18,053,303	—	18,053,303
セグメント間の内部売上高又は振替高	18,831	5,151	23,983	71,369	95,353	△95,353	—
計	5,580,593	12,461,413	18,042,007	106,648	18,148,656	△95,353	18,053,303
セグメント利益又は損失(△)	358,803	△13,980	344,823	914	345,738	△18,123	327,614

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本橋やさい事業、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額18,123千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不織布	家庭紙・ 日用雑貨	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,499,490	12,353,610	17,853,101	30,954	17,884,056	—	17,884,056
セグメント間の内部売上高又は振替高	52,046	4,506	56,553	70,531	127,085	△127,085	—
計	5,551,537	12,358,117	17,909,655	101,486	18,011,141	△127,085	17,884,056
セグメント利益又は損失(△)	271,812	△54,597	217,215	8,306	225,521	△22,052	203,469

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額22,052千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。